



池田名誉会長

光の言葉 幸福の曲

「11・18」から前進
わが生命に

幸福の宮殿を

11・18「創価学会創立記念日」を寿ぐような菊の饗宴——2005年11月、池田名誉会長が東京・信濃町で撮った一枚である。

広宣流布大誓堂の建立から1年。世界広布新時代の上げ潮の中、今年も、原点の日が巡り来る。

日本の柱、世界の希望と輝く創価の連帯。その平和と人材の大河も、全ては、三代の会長の死身弘法の大闘争に源を発する。

今年の「11・18」は、牧口初代会長が軍部権力に抗し、殉教を遂げて70年。

源遠ければ、流れ長し。「原点」を忘れなければ、流れは尽きない。永遠に勝ち栄えていくことができる。その「原点」とは、正義を叫び切る不屈の信念。民衆と共に歩み抜く誓い。そして、艱難の中でこそ光る師弟の魂である。

聖 教 新 聞

2014年(平成26年) 11月16日(日)

「創立の日」！

この日は

我らの久遠の原点に立ち還る

赫々たる光輝に

満ち満ちた日である。

常に この日より

我らは

力強く希望に燃えて

湧き出ずる

使命と信念を漲らせながら

胸を張って立ち上がる。

我らの「平和への大道」とは

「立正安国への大道」である。

一番苦しんでいる人が

一番幸福になる。

そして、

一番大変な地域・社会が

一番安穩に輝く。

その大いなる希望の光源こそ、

創価の堅固な連帯と

不屈の前進なのである。

民衆とともに！

民衆のために！

常に、この原点に立ち返れば、

無限の力と

無量の智慧が湧いてくる。

正義の民衆の力ほど

偉大なものはない。

民衆の連帯の力で

断固、勝ち抜くのだ。

広宣流布は、

一人ひとりが我が生命に

幸福の宮殿を築きながら、

人類が夢見た

人間共和の「永遠の都」を

建設しゆく大聖業である。

現実の仕事や眼前の戦いには、

誠実に緻密に精確に挑み、

心には宇宙大のロマンを

光らせていくのだ。

さあ、「創立の月」から、

目を見張る勢いで

大前進を開始しよう！

新たな人間革命の劇の

幕開けだ！



イタリア・ミラノを訪問。センピオーネ公園で、友との記念撮影に臨む池田名誉会長夫妻。創価の師弟によって、平和の大法は世界へと広がった